



アドナイ刊

主の山に備えあり (創世記22章)

発行 社会福祉法人 十字の園
 ケアハウス アドナイ館
 細江デイサービスセンター
 発行責任者 鈴木 淳 司
 〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7437-8
 電話 (053) 439-1200 (代表)
 439-1212 (デイ直通)
 FAX (053) 439-1211
 郵便振替 00890-9-125741
 E-mail: hm-adonai@orion.ocn.ne.jp
 URL: http://www.jyuji.or.jp/hamamatsu_city/adonai/



細江デイサービスのお正月

2020年1月4日



♣みおつくし♣

春うらら、外の世界はまさしく春。窓の下の花壇には「きんせんか」が咲き誇っています。梅も河津桜もとても綺麗に咲いています。でも今世界中に「新型コロナウイルス」が蔓延して、世界中の交通が遮断され、観光もスポーツを始めとしたイベントがごとごとく中止になっています。昨年末から始め、感染の勢いが止まらないで世界各国に飛び火しています。私の勤務する養護老人ホームは例年通り、十一月から外出・外泊・面会を自粛させてもらっています。受診もできる限り少なくして、「受薬対応」で看護師が走っています。クリスマス会・新年の会・節分も内々で行いました。いつもはボランティアの方や隣接の保育園児の来訪がありますが、すべて中止でした。これは「インフルエンザ感染対策」の一環でした。お陰様でインフル感染者はありませんでしたが、職員の創意工夫は普段以上に大変でした。三月から解禁しようと思っていた矢先に、今朝のニュースで「介護施設の面会自粛等」が飛び込んできて、どうしましょうというところまで。今年はおリンピック・パラリンピックの年です。一刻も早く収まることを祈っています。

兼子邦子



「二〇一九年度を振り返って」

施設長 鈴木淳司

昨年の年間聖句は「平和を追い求め、尋ね求めよ」でした。平和な日々が過ごせたかどうかと思うと、変化が大きく、毎日祈りを重ね、聖句の通り平和を追い求め、尋ね求めなくては進んでいく事が難しい年でした。六月の施設長就任後、しばらくして、台風が私たちを襲い、被害が各地で聞かれました。入居者の皆様と職員が協力し、努力して下さり、大きな被害にならずにすみました。誠に感謝申し上げます。秋には、社会保障の充実のために消費税が増税となり、料金改定などがありました。年が変わり、現在は、世界的に新型コロナウイルスが流行しています。治療方法が確立されず、高齢者や持病をお持ちの方が重症化しやすく、感染拡大防止に努めなければなりません。その為高齢者施設であるアドナイ館でも面会など行動制限をお願いし、ご不便をお掛けしております。

この一年は、理事長と第二アドナイ館、アドナイ館施設長を兼務しながらの運営でしたので、入居されている皆様には行き届かないところが多分に有り、ご迷惑をお掛けいたしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

これから新たな年に向かって行く中で示された年間聖句は、「信じます。信仰のない私をお助けください。」です。不安や恐れが増し、疑心暗鬼に陥りやすいような状況ですが、この様な時にこそ、聖句に示された御言葉を携え、主が示して下さいている回復の道を信じ歩み続けます。

四月から新たなメンバーが加わり、主が備えて下さったこのアドナイ館で、より安心して生活していただけるように職員一同努力してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

地域のひろば



社会福祉法人ひかりの園は視覚障

害のある人たちを支えようとする浜松市内の数人のカトリック信者の熱意により、一九七二年に設立されました。今は児童・障害者・高齢者の福祉事業を総合的に実施しています。私是一九七六年からひかりの園で障害児者の支援に携わり、現在は相談支援の仕事をしています。

コミュニケーションと人格

社会福祉法人ひかりの園理事 相談支援事業所まで所長 高木 誠一

糸賀先生は「自己と他者の共同(まじわり)が人格の本質であること、又かかる共同を成立せしむるものが「愛」に外ならない」と述べました。「共同(まじわり)が人格の本質」とは、人は広義でいうコミュニケーションの場に生きて人格たりうるといふことです。コミュニケーションの語源である *Communio* (コムニオ) は、「ともにある」かつ「分かち合う」という意味をもちます。コミュニケーションのはじまりは相互に理解しあうことです。そして、福祉援助が行われる場合は、まさに人と人が全人格的にかかわりあうコミュニケーションの場です。ひかりの園では「喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい」という聖書の言葉を理念に掲げています。助力を必要とするご利用者の喜びと悲しみを分かち合うことで、いのちの光のなかに、ともにあること(共生)を目指しています。

私は学生の頃に、障害者社会の父といわれる糸賀一雄先生の福祉思想に触れ、大きく影響を受けました。糸賀先生は「この子らを世の光に」の言葉を遺されました。重い障がいのある子どもに恩恵の光をという意味ではなく、「この子ら」が世を照らすいのちの光であると訴えたのです。





「キリスト教主義」

松崎十字の園 施設長 三條洋二

十字の園に勤めて二七年が経つ。

勤め始めて何も解らないキリスト教主義の福祉をその当時の施設長の働きを見て、教えられた。そして、研修として参加した日本キリスト教社会事業同盟での交わりは、私にとって良い学びの場であり、無信仰な者も受け入れてくれて励みになる場でもあった。

そして、キリスト教福祉とは何かと考える機会がいつも与えられてきた。最近、神学者八木誠一氏の神学の研修会に参加し、学びを行っている。

八木先生のいくつかの著書に次の文章が出て来る。

「ドイツに奉仕女がいた。彼女はある廃人の世話をしていた。ずっと世話をしていたわけですが、廃人は年老いて、奉仕女も年老いた。そのうち廃人が死に、それから奉仕女も死んで、いまでは丘の上にお墓が二つ並んで建っている。」八木先生が

阿部志郎先生に伺ったお話だそう。

奉仕女は、ディアコニッセの姉妹の事である。姉妹は、良くなることのない廃人を一人の価値ある者として見ていた。そして、廃人も姉妹にすべてを委ねていたと言う事が想像できる。つまり、双方の歩みに神様の働きがあったと言う事である。

イエスを通してなされた神の働きの事が、聖書には書かれている。

そして、十字の園の職員一人ひとりも同じように利用者のお一人おひとりに関わるという事を六十年間続けて来た。

神は、働かれる神である。その働きは、人と人との間に働かれる神である。そしてその働きを通して一人ひとは、変えられる存在としている。

キリスト教主義の福祉は、目指すものではなく、今、あなたが関わっているそのものを信じる事である。

福祉情報 - その⑭ -

*通所の栄養・口腔ケア 施設入所の歯止め

デイサービスの利用者の九割近くが、要介護のリスクである口腔機能の低下に該当していることが明らかになった。だが、介護報酬の栄養改善加算や口腔機能向上加算の取得率は全国で一割にも満たない。

デイサービス利用者を対象とした調査では、特に口腔機能の低下はかなりのリスク状態で低栄養状態の恐れのある利用者も半数近くいた。

デイで口腔ケアや栄養ケアに

取り組むことは在宅生活を長続きさせるカギになると考察される。デイで栄養改善に取り組んでから家での食事も気にかけてり、送迎の際に家族と情報交換することが増え、自宅での生活の質の向上に繋ぐことができるのはデイの強みだ。

現在は口腔機能向上と栄養改善は別々の加算だが、一体となつて取り組むべきであることが見えてきた。報酬改定への提案材料とするためにもより多くの事業所に加算を取得していただきたい。

(シルバー新報より)

たべもの - 厨房より - あれこれ

チョコレートについて ~チョコレートの種類~

チョコレートにはいくつかの種類があります。ミルクチョコレートはカカオなどの原料に乳製品を多く混ぜたもので甘みが強く食べやすいチョコレートです。ブラック(ビター)チョコレートとは乳製品が入らない、又は少ないチョコレートでカカオ成分が多く含まれ苦みの強いものです。ホワイトチョコレートは、カカオからとれるココアバターにミルク、砂糖などを加えて作られるチョコレートで色は白く、苦みなどは少ないものです。

近年はチョコレートブームによって色々なチョコレートが売られています。ご自分で好みに合ったチョコレートを探してみたいかがでしょうか?



仲良くツーショット

アドナイ館にお世話になって一年になります。八四才と八〇才の夫婦です。
若い時に牧師をこころざし、静岡県の清水、浜松、浜北、愛知県の岡崎、名古屋、大阪の高槻の六つの町で奉仕し、引退後は静岡県藤枝で七年間を過ごし

ケアハウス

わたしの夢
わたしの楽しみ
わたしの〇〇

「よろしくお願ひします」

入居者 布施恒夫
ノブ子

ました。いずれも東海道沿線ということになり、あまり他の町のことは知りません。主に静岡県というところで浜松の長谷川保氏のことはよくお聞きしておりました。長谷川保氏が死の病と恐れ捨てられるように扱われた方を引き取り、三方原の台地で治療に取り組んだことが今日も聖隷事業団の原点だとうかがっています。近くにある「十字の園」にもよくお見舞いにかかっています。そんなこともあって自分が年齢をかさねたらぜひアドナイ館にお世話になりたいと思っております。
アドナイ館に入りましたから、特に最近心臓の弁の手術をしましたが多分の方から声をかけていただき、お祈りいただきましたことを感謝しております。
アドナイ館では土曜日、日曜日を除いた毎日、礼拝のときがあり、多くの先生が毎回、聖書のお話をしてくださるのほうれ

しい時であり、クリスチャンである私にとつてはありがたいことと思っております。そのほかにも聖書のことばがかかげられていて、信仰のこほりがあることに感謝しております。
私どもの家族は二人の両親（今は天国にいつている）と四人の兄弟と各々の家族。皆、一族郎党、信仰に導かれてきます。これは驚くべき恵みです。牧師として五八年、守られたのは、彼らの祈りと支えがありました。私どもの二〇才の孫は、五代目のクリスチャンで、KGK（キリスト者学生会）で信仰の恵みを頂いています。
今わたしが教えられている聖書のことばはこれです。
「何よりも、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労はその日だけでじゅうぶんである。」マタイによる福音書六章三三、三四節。
以上です。どうぞよろしくお願ひいたします。

ケアハウス日誌

1月

- 11・25 読書会
- 15・29 買い物ツアー
- 15 移動図書
- メガネ相談
- 職員勉強会(救急法)

- 16 ビューティーヘルパー
- 18 フラワー教室

2月

- 6 芳樹会総会
- 8・22 読書会
- 12・26 買い物ツアー
- 12 移動図書
- メガネ相談
- 15 フラワー教室
- 19 職員勉強会
- 20 ビューティーヘルパー
- 25 防災訓練
- 口腔ケア

- 筋力トレーニング(週二回)
- カラオケ(週二回)
- ブネメソッド(月二回)

デイサービス

『節分レクリエーション』
介護職員 田中政義

二月もあっという間に過ぎ、花便りの嬉しい季節を迎えましたね。

細江デイサービスでは、二月一日、三日、四日にかけて毎年恒例の節分レクリエーションを行いました。

準備から利用者様も手伝って下さり、用紙に書いた鬼の絵に絵具を使って色塗りし、箱に貼り、顔・体・足と三段で出来上がる立派な青と赤の鬼が完成。入口に飾り「良い物が出来たね」と喜ばれていました。

まず節分と言えば、やはり豆まき。二つのチームに分かれ



鬼は外

ここでは豆の代わりに玉を用意して行いました。職員二名が、青鬼と赤鬼になって登場すると、「きたきた」「鬼は外」と利用者様の力強い玉が鬼めがけて飛んでいきます。とても楽しそうな笑顔と笑い声がフロアに響きました。鬼も負けじと威嚇するも、利用者様の力には及ばず、「許してください」とすぐ降参。しかし、そう簡単に終わりません。「まだ許しませんよ」「どんなにくよ」と玉は勢いよく飛んでいきます。普段、手や身体が痛いと言われている方も、そんなことを感じさせない程の激しい豆まきでした。その後は「鬼さんも一緒にやっつけていきな」と仲間に入れて下さいました。次に作って頂いた鬼を使い、輪投げを行いました。椅子に座ると意外と高い鬼。狙うは一番上の角。「これは難しい」と声も聞こえましたが、「がんばって」「できるよ」と応援し合い、



福は内

その力もあつてたくさんの輪が入り盛り上がりました。応援があると力が湧きますね。

最後に、鬼と福の絵を床に敷き、玉を転がし絵の上に乗せるゲームを行いました。福は三十点でしたが、鬼はなんとマイナス五十点。そして、豆まきで鬼を懲らしめすぎたせい？というのは冗談ですが、鬼になぜかよく吸い込まれていく玉。点数はマイナスがずらりと並んでしまいました。笑ひあり、涙ありの節分レクリエーションを通してとても楽しい時間を利用者様と共有できました。

今後、利用者様と喜びや楽しみをお互い共有できるよう努力していくので、楽しみにしてください。

《(♪ デイサービス日誌 ♪)》

| | レクリエーション | | | | |
|----|----------|----------|-----------|------------|----------|
| | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 第5週 |
| 1月 | 新年レク | 新年レク | 個別グループ活動 | フリーレク(誕生会) | 個別グループ活動 |
| 2月 | 節分レク | 個別グループ活動 | フリーレク(集団) | フリーレク(誕生会) | 個別グループ活動 |

《(☆ デイサービスの動き ☆)》

| 【デイ会議】 | 【出張】 | 【サービス担当者会議】 | 【実習】 | |
|--------------|------|---|------|--|
| 1/23 2/27 | | 1/9、1/10、1/16、 1/24、1/27、1/30 2/19 (安田、川端、宮道、 夏山) | | ボランティア(傾聴) 池田様 ボランティア(芸能等披露) 1/16、2/13 1/20、2/18 バルーンアートヒロ様 横山様のフラワーアレンジメント 1/17 GGs様 1/29、2/26 プンネメソッド |

新職員紹介



宇佐美 邦彦
1961年12月14日生
出身地 浜松市
部門 デイサービス
介助員

ボランティアが縁で皆様の仲間に加えていただきました。明らにだけ取り柄ですが、少しでもお役に立てればと思います。よろしくお願いいたします。

アドナイ館南庭の花壇

春が楽しみです

それほど大きくはありませんが、季節ごとにきれいな花を咲かせ入居者様の目を楽しませてくれています。

花の植え替えや草取りを手伝ってくださる方、花壇整備のために使ってくださいと、ご寄付をしてくださる方、花の苗を寄贈して下さる方など多くの方々の善意で保たれています。

秋に植えたチューリップの芽がだいぶ大きくなり、開花が楽しみです。



曳馬野

武漢に想う

長江の霧に濡れたる 街角に

蓄音器の蒼き音の流れて

来て十二年 早咲櫻に 出会う朝

あと幾たびか 御手にゆだねて

八十路超え いくさ無き地に 生きる幸

主よこの恵み ひ孫の世にも

若き日に 難攻不落トーチカのように

言われぬ 卒寿を給う

春海

香代子

二首

佐和子

耳よりな話

『花粉症におすすめの食へ物』

花粉症はアレルギー反応の一種です。そのため、体の免疫力を高めることで抵抗力を上げるとアレルギー反応を抑えることができます。

基本はバランスの取れた食生活を心がけることが大切ですが、とくに意識したい栄養素や、代表的な食品を紹介します。



一、発酵食品(ヨーグルト、納豆等)

二、食物繊維(野菜、海藻等)

三、オリゴ糖(きなこ、はちみつ等)

四、サバ、イワシなどの青魚

五、エゴマ油、亜麻仁油

六、お茶、ハーブティー

七、ビタミン(ナッツ、フルーツ、緑黄色野菜等)

八、ポリフェノール(チョコレート)

花粉症に限らず日々の健康に有効なものばかりなので日常に取り入れてみましょう。(K)

献金感謝

Table with 2 columns: 献金月分 and 件数/金額. Includes 1月分 (4件, 11,000円), 2月分 (5件, 383,100円), 合計 (9件, 394,100円), 4~2月累計 (1,065,100円)

『献金者ご芳名』

(敬称略)

1 月

伊吹由歌子、松戸教会、東中通教会、松沢教会

2 月

藤沢教会、静岡教会、関西学院宗教活動委員会、掛川教会、匿名一件

皆様のお支えに心より感謝申し上げます。

あとがき

アドナイ刊第一六〇号をお届けします。

花の蕾もふくらみ、鶯の鳴き声も聞こえてくる昨今となりましたが、新型コロナウイルスによる呼吸器伝染病があつという間に世界各国に蔓延してしまいました。

アドナイ館もご多分に漏れず全員の勉強会や春のお楽しみ音楽会などの行事が延期や取り止めとなりました。今は手洗いがいの励行でばい菌の体内侵入を防いで、流行の一日も早い終息を祈るばかりです。(S)